

雑草の刈り取りはお早めに

空き地に生える雑草は、放っておくと背丈ほどに成長し、手がつけられなくなってしまうことがあります。また、繁茂した雑草により害虫が発生したり、ごみを不法投棄されたりするなど、近隣の生活環境を悪化させる原因となります。

空き地の所有者または管理者は、近隣の生活環境を悪化させないためにも、早めに雑草を刈り取るようお願いいたします。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当
☎556-9530



合併処理浄化槽の設置に補助金を交付しています

市では、河川の水質向上のため、し尿のほかに台所・洗濯・風呂などの生活雑排水を併せて処理する家庭用の合併処理浄化槽の設置に対して、補助金を交付しています。

▶対象

- ・市内(下水道事業認可区域を除く)に合併処理浄化槽を設置する方
- ・主として住居を目的とした住宅(小規模小売店舗などを併設した住宅を含む。ただし、居住部分の床面積が全体の床面積の2分の1以上)に合併処理浄化槽を設置する方
- ・住宅を借りている場合、賃貸人から合併処理浄化槽の設置の承諾が得られた方
- ・補助金申請時に設置工事に着手していない方
- ・保守点検、清掃および法定検査を実施できる方

▶補助金額

人槽区分	交付金額
5人槽	120,000円(既存単独処理浄化槽またはくみ取り便所からの転換を伴う場合は、332,000円)
7人槽	120,000円(既存単独処理浄化槽またはくみ取り便所からの転換を伴う場合は、414,000円)
10人槽	120,000円(既存単独処理浄化槽またはくみ取り便所からの転換を伴う場合は、548,000円)

▶その他 予算の範囲内での補助により、年度途中で終了する場合あり。

▶申し込み・問い合わせ 環境課環境政策担当☎556-9530

環境調査結果をお知らせします

市では毎年、河川の水質・底質、大気および土壌中のダイオキシン類に関する調査を実施しています。平成21年度の結果は次のとおりです。

1 河川の水質(年平均値)

【調査日】平成21年6月19日、10月16日

平成22年1月21日、3月11日

【結果】長野落、北河原用水のBODは環境基準値を超えていましたが、それ以外は環境基準値を下回りました。

測定地点	pH	BOD (mg/l)	SS (mg/l)
新忍川	7.3	3.1	21
長野落	7.5	8.4	15
北河原用水	7.4	5.3	10
荒川左岸幹線用水	8.3	2.9	20
酒巻導水路	8.0	2.6	10
環境基準値	6.5~8.5	5	50

・pH(水素イオン濃度指数)：酸性がアルカリ性を示す指標で、7が中性

・BOD(生物化学的酸素要求量)：有機物汚濁の指標

・SS(浮遊物質)：水中に漂っている固形物質の量

※測定は年4回、各河川の上流・中流・下流で行っており、上記の結果は各河川の年間平均値です。なお、測定結果の詳細は市のホームページで公表しています。

2 河川の底質

【調査日】平成22年3月11日

【結果】底質を除去しなければならない基準である「底質の暫定除去基準」を下回り、良好な結果でした。

測定地点		総水銀 (mg/kg(dry))	ポリ塩化ビフェニル (mg/kg(dry))	ひ素 (mg/kg(dry))
長野落	上流	0.25	0.01以下	8.7
	中流	0.10	0.01以下	7.5
北河原用水	上流	0.09	0.01以下	5.7
	中流	0.05	0.01以下	6.1
底質の暫定除去基準		25	10	—

3 大気中のダイオキシン類

【調査日】[夏季]平成21年8月18日~25日

[冬季]平成21年12月8日~15日

【結果】環境基準値を下回り、良好な結果でした。

調査地点	ダイオキシン類濃度(年平均値) (pg-TEQ/m ³)
行田市役所	0.069
南河原支所	0.058
地域交流センター	0.079
環境基準値	0.6

4 土壌中のダイオキシン類

【調査日】平成21年8月25日

【結果】環境基準を下回り、良好な結果でした。

調査地点	ダイオキシン類濃度 (pg-TEQ/g)
馬見塚公園	1.6
棚田中央公園	3.2
八幡山公園	23.0
環境基準値	1,000

市では河川の汚染防止対策として、合併処理浄化槽の設置や適正使用を推進しています。また、ダイオキシン防止対策として、市内野焼き防止パトロールを実施しています。

今後も、皆さんの環境汚染防止へのご協力をお願いします。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当☎556-9530